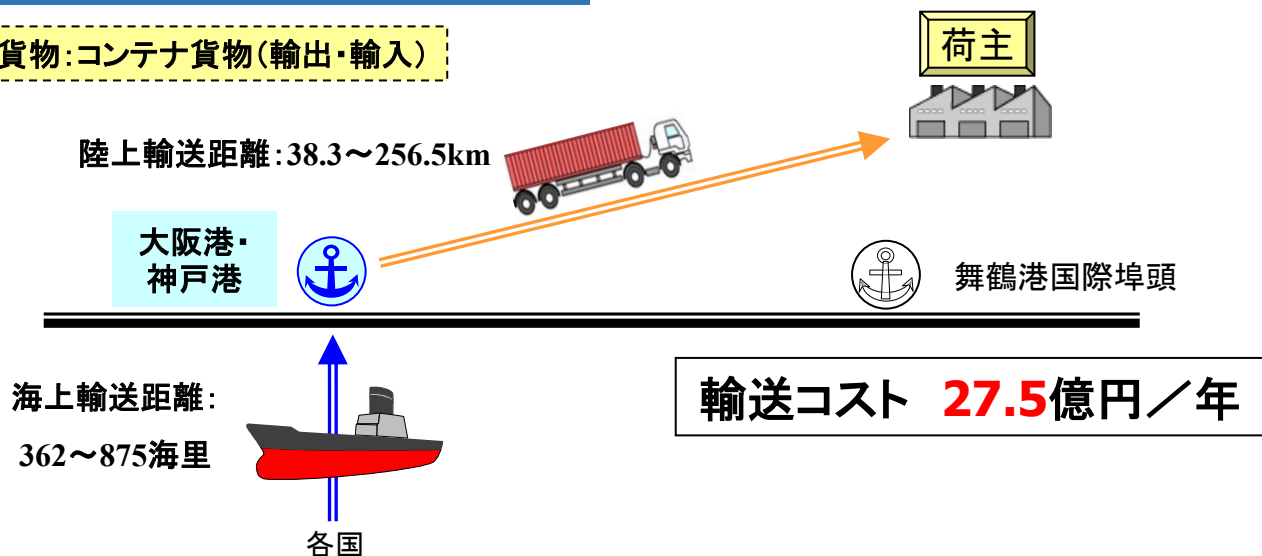


舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

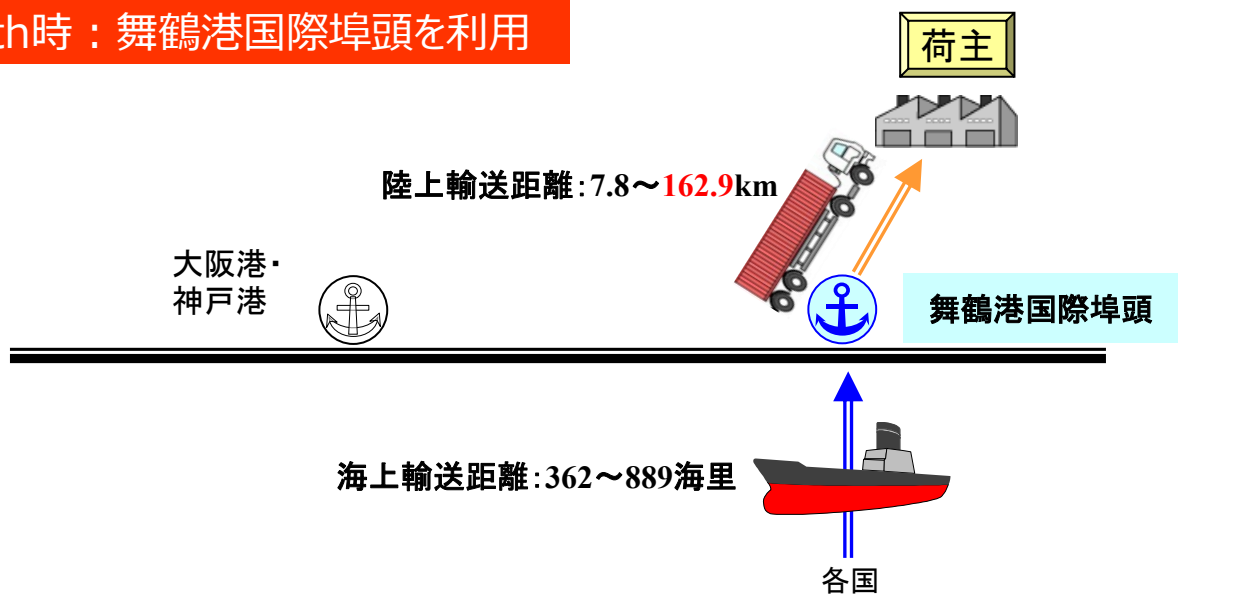
舞鶴港において、舞鶴港背後圏のコンテナ貨物を取扱い、効率的な貨物輸送を行うため、岸壁の国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：大阪港・神戸港を利用

主な貨物：コンテナ貨物(輸出・輸入)



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



※完全供用時の単年度便益(令和18年)
※四捨五入のため数値が一致しない場合がある。

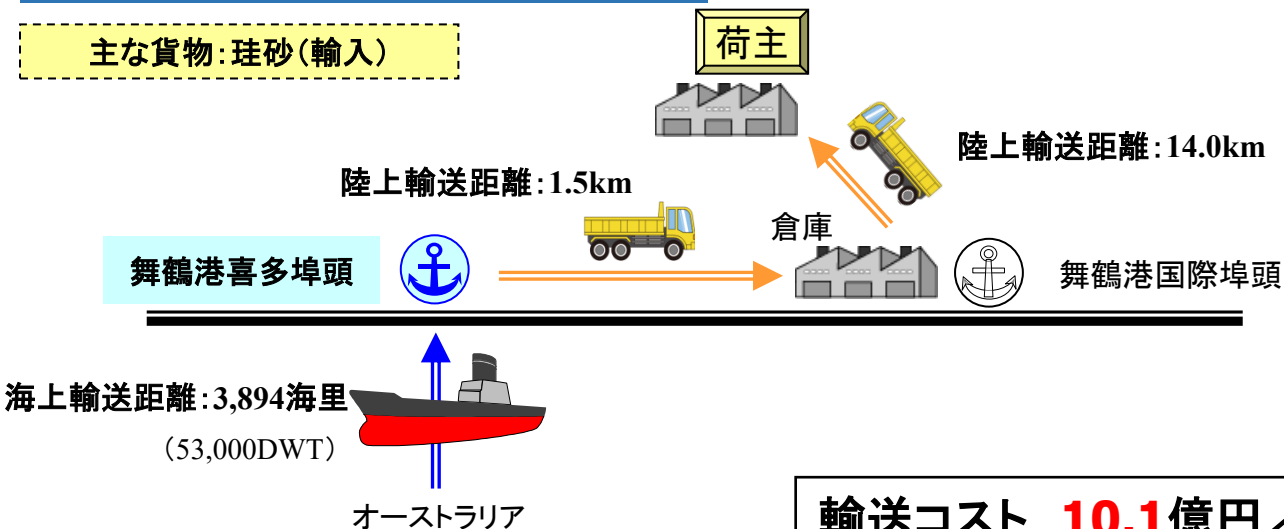
輸送コスト削減額 **10.0** 億円／年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

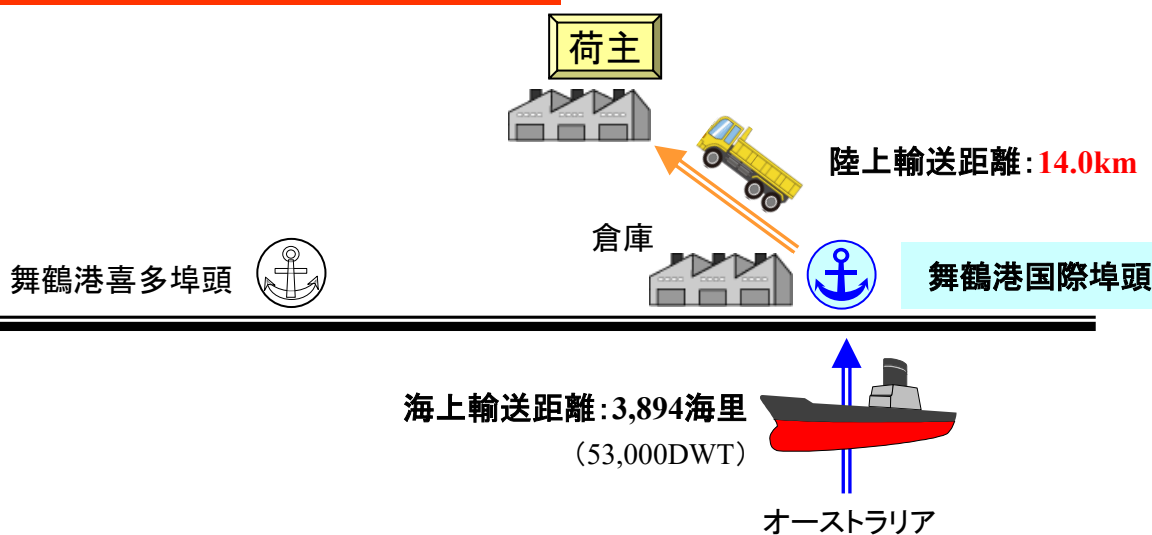
舞鶴港において、貨物需要の増大や喫水調整の解消に対応するため、和田地区において岸壁の整備等、国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：舞鶴港喜多埠頭を利用

主な貨物：珪砂（輸入）



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



※完全供用時の単年度便益(令和18年)

輸送コスト削減額 **3.2** 億円／年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

舞鶴港において、貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するため、和田地区において岸壁の整備等、国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：舞鶴港喜多埠頭を利用

主な貨物：ソーダ灰(輸入)

荷主

陸上輸送距離：1.5km

陸上輸送距離：14.0km

舞鶴港喜多埠頭



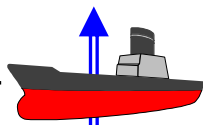
倉庫



舞鶴港国際埠頭

海上輸送距離：4,447海里

(35,000DWT)



アメリカ

輸送コスト 4.3億円／年

With時：舞鶴港国際埠頭を利用

荷主

陸上輸送距離：14.0km

舞鶴港喜多埠頭



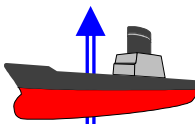
倉庫



舞鶴港国際埠頭

海上輸送距離：4,447海里

(45,000DWT)



アメリカ

輸送コスト 2.4億円／年

※完全供用時の単年度便益(令和18年)

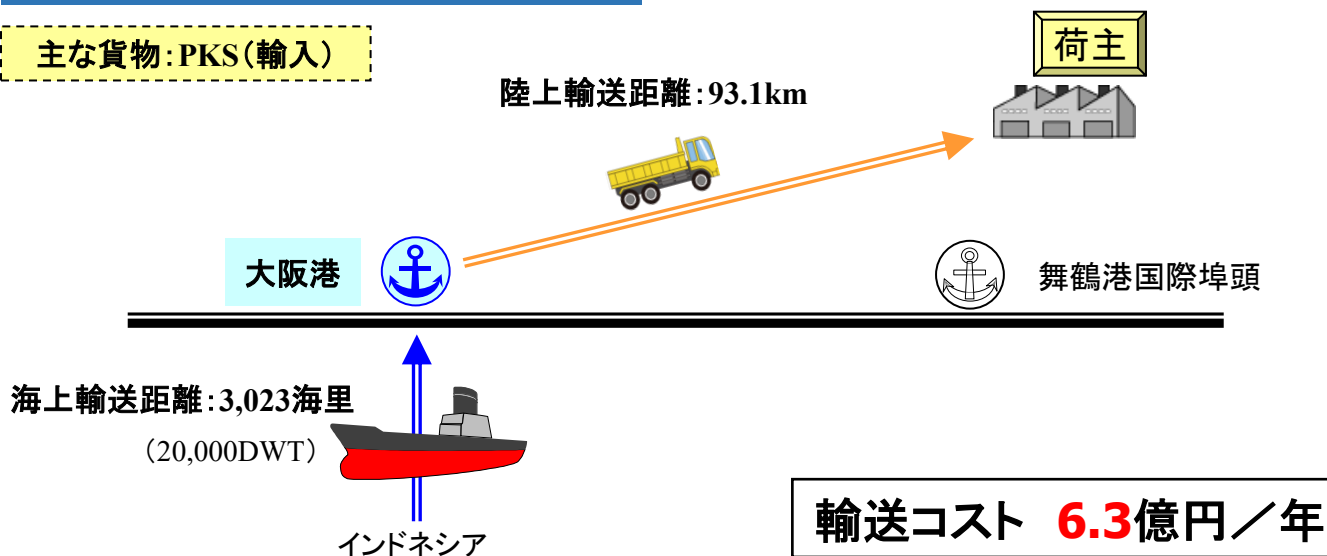
輸送コスト削減額 1.9 億円／年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

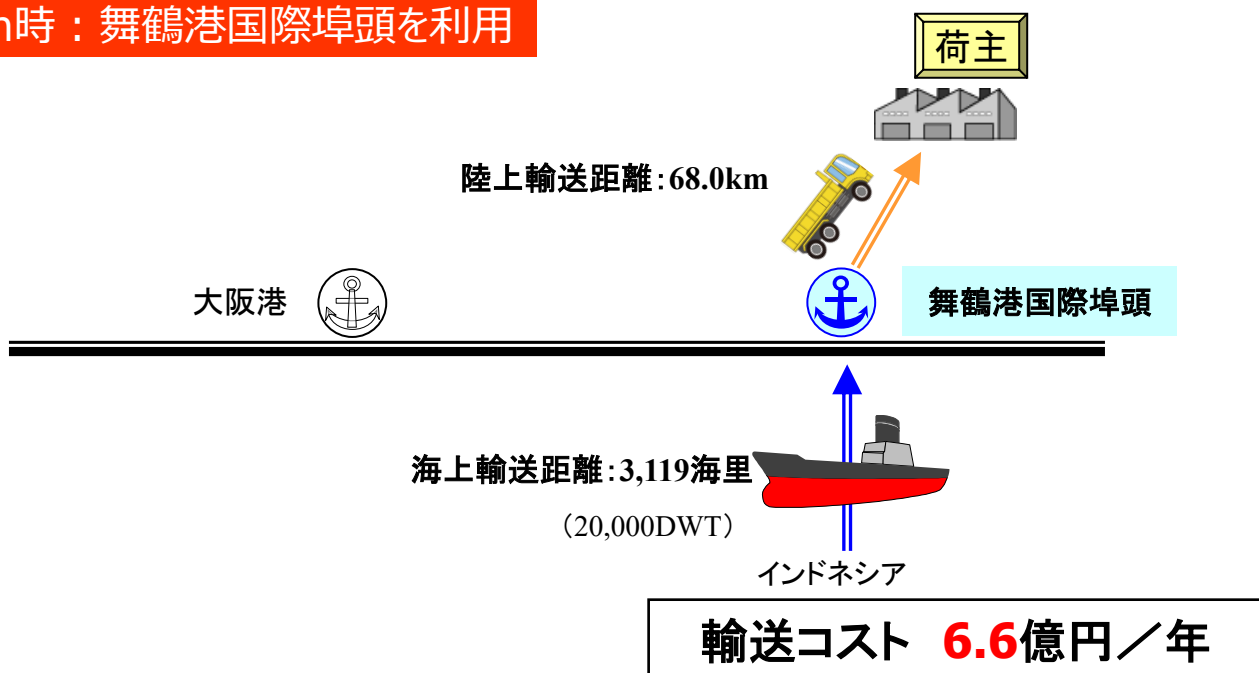
舞鶴港において、貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するため、和田地区において岸壁の整備等、国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：大阪港を利用

主な貨物：PKS(輸入)



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



※完全供用時の単年度便益(令和18年)

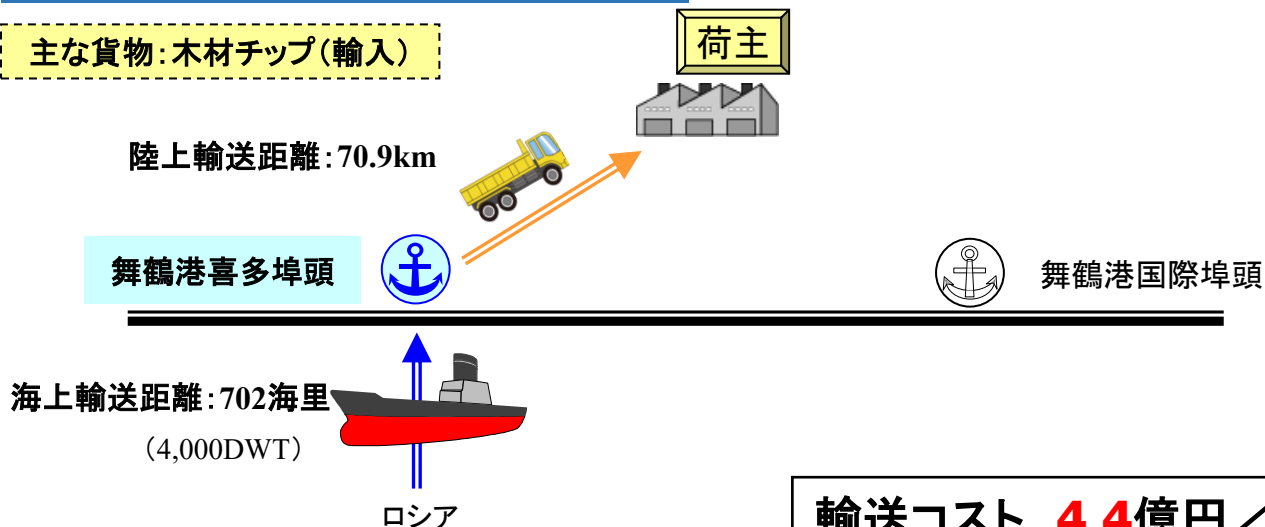
輸送コスト削減額 0.3 億円／年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

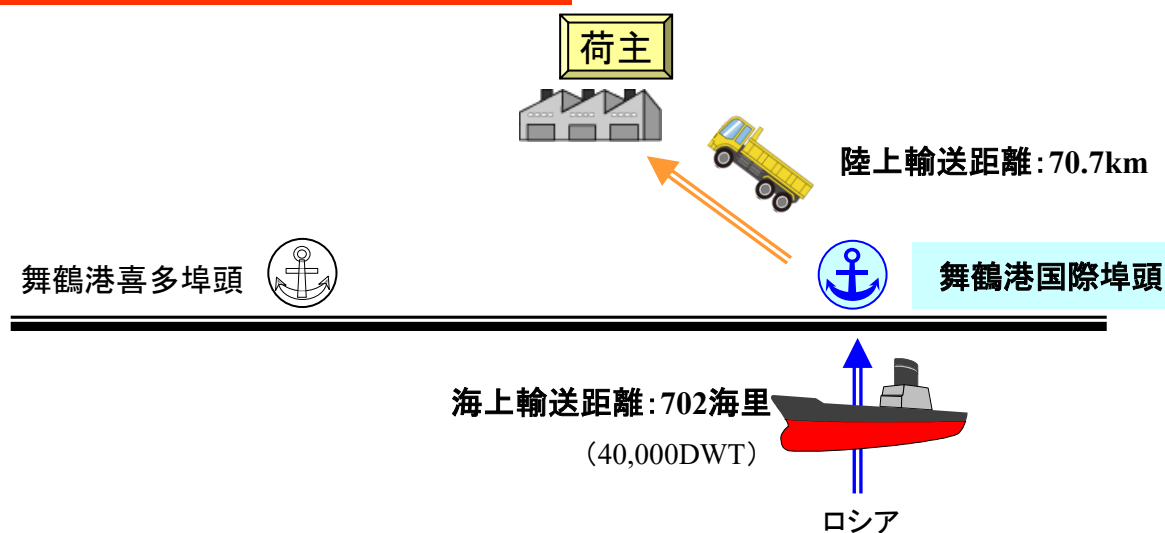
舞鶴港において、貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するため、和田地区において岸壁の整備等、国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：舞鶴港喜多埠頭を利用

主な貨物：木材チップ(輸入)



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



※完全供用時の単年度便益(令和18年)

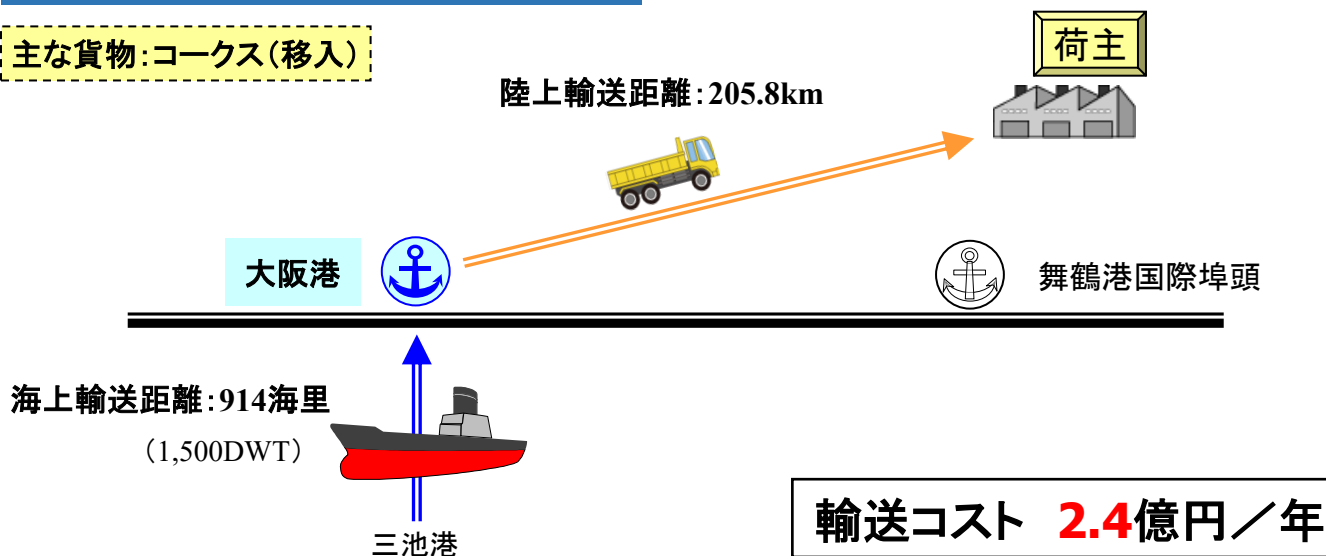
輸送コスト削減額 1.4 億円／年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

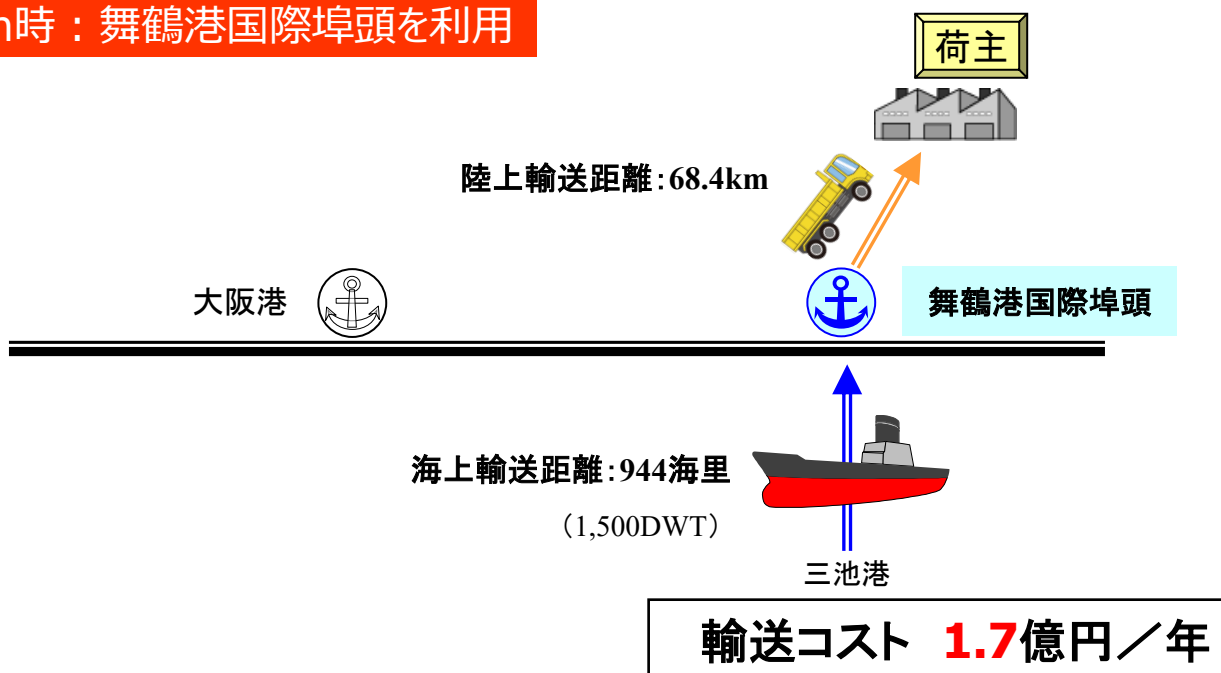
舞鶴港において、貨物需要の増大への対応や効率的な貨物輸送を行うため、和田地区において岸壁の整備等、国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：大阪港を利用

主な貨物：コークス(移入)



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



※完全供用時の単年度便益(令和18年)

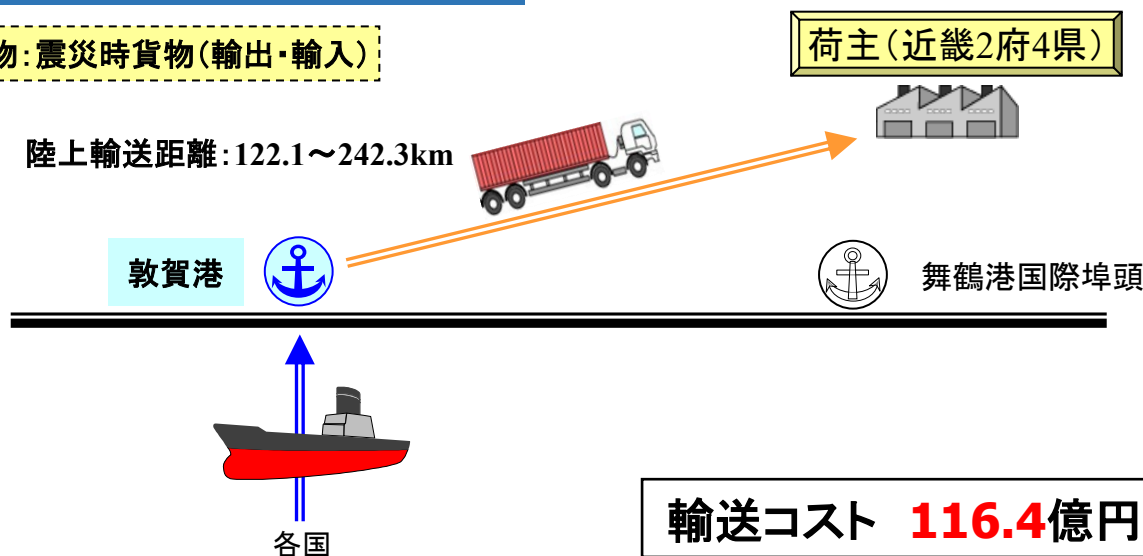
輸送コスト削減額 **0.7** 億円/年

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

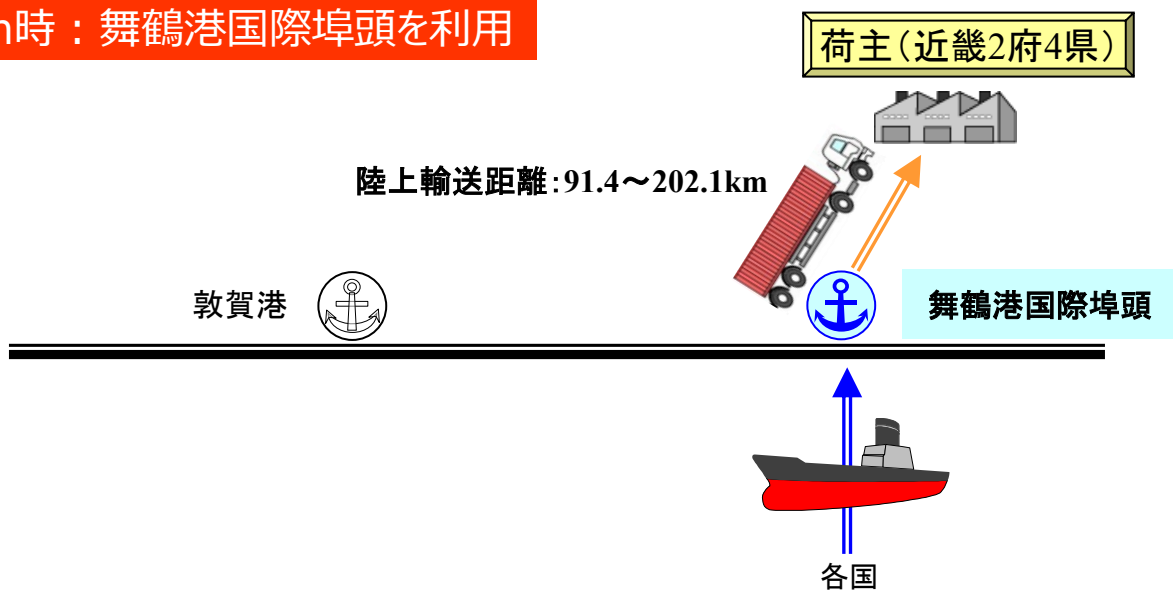
舞鶴港において、舞鶴港背後圏のコンテナ貨物を取扱い、効率的な貨物輸送を行うため、岸壁の国際物流ターミナルの整備を行う。

Without時：敦賀港を利用

主な貨物：震災時貨物(輸出・輸入)



With時：舞鶴港国際埠頭を利用



輸送コスト削減額 **21.0** 億円／年

※地震発生確率考慮前

舞鶴港和田地区国際物流ターミナルの整備

背後道路の円滑化を目的に臨港道路を整備する。

Without時：整備なし



With時：整備あり



	移動コスト 削減額	事故損失 削減額
H10 (供用開始)	9.5	0.04
H27 (トンネル整備時)	22.6	0.1
R6 (橋整備時)	35.5	0.3
R18 (全線供用時)	33.0	0.3

※完全供用時の単年度便益(令和18年)

移動コスト削減額、事故損失削減額 **33.3 億円／年**